



# YMCA

## 大阪青年

2011. 6

Jun

No. 640

月刊 The YMCA 付録

編集・発行 / 日本 YMCA 同盟 東京都新宿区本塩町7番地

大阪青年 発行: 末岡祥弘 編集: 大阪 YMCA 広報室

〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-5-6

TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297

URL: http://www.osakaymca.or.jp/

(年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

### インデックス

1面  
世界に広がる 祈りの輪  
地の塩

2面  
震災復興支援報告  
食育コラム  
英会話で広がる国際意識  
シニア、ハワイツアー

4面  
YMCA通信

### 大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

## 世界に広がる YMCA ネットワーク、祈りの輪



各国の参加者からの励ましと祈りのメッセージ

共に祈りましょう。  
哀れみ深き主なる神様、地震によって被害を受け、苦しみの中にある日本に目を向けてください。あなたの救いがありますように。多くの人がこの災害で命、家を失いました。神様の恩寵とご加護がありますように。原発からの放射能に汚染されないようにあなたの慈愛で人々の命を

### 香港中華YMCA

## アジアのYMCAから祈りのメッセージ

大阪YMCAでは使命にも謳われるように世界の人々と力を合わせ、地球規模の様々な課題に取り組んでいます。とりわけ、アジア・太平洋地域にあるソウルYMCA、メトロポリタンYMCAシンガポール、台北YMCA、香港中華YMCA、ホノルルYMCAとは強い協力関係にあり、年に一度、それらのYMCAが一堂に会し、各Y運営状況の共有と事業協力を目的とした6YMCA協議会が開催されています。第17回目となる今回は4月7日〜11日の日程で、メトロポリタンYMCAシンガポールで開催され

ました。テーマは「Renewing YMCA (YMCAの革新)」。取り上げられ、北米YMCAによる「New Branding (ブランド戦略)」について学び、YMCAが捉えるYMCA像と地域社会が捉えるYMCA像とのギャップをいかに埋めるかに主眼が置かれ、協議が持たれました。また、東日本大震災の発生から問もない時期であったこともあり、開催中は各国の参加者から日本のYMCAや被災した方々に対し、多くの励ましと祈りの言葉が寄せられました。

お守りください。あなたの御手により、世界の他の原発も穏やかでありますように。  
人類が新しく生まれ変わるために、主を仰ぎ、恩寵とご加護を願いつつ、心一つにして祈りましょう。

### 台北YMCA

台北YMCAを代表して東北地方において甚大な被害をもたらした地震と津波によって被災された方々に心より哀悼の意を表します。

愛する人を失われた方々にお悔やみ申し上げます。生存しておられる方には癒しが、復興支援に当たられていらっしゃる方には力を与えられますように。

私たちが一日も早い復興を祈り、私たちの心は、いつもあなたたちと共にあるということをお覚えください。

### ソウルYMCA

深い悲しみを抱えていらっしゃる方々に対し、何と慰めの言葉をかけてよいのか思い浮かびませ

ん。今はただ、生きていることを感じる他ないと思えますが、すべての方がこの悲しみに打ち勝ち、再建へと導かれますことを望んでおります。神様の恩寵が皆様とご家族の上にありますように。

### メトロポリタンYMCAシンガポール

私たちは3月11日に起こった大災害によって多くのものを失い、また、復興を目指す日本の方々と共にいます。地震とその後にもたらされた津波の恐ろしさ、そして未だに続いている原発への不安は言葉になりません。私たちは生存者や救済者の静かな勇気を目にしました。私たちの力は、助けの手を差し伸べるにはあまりにも微力です。大阪YMCAの兄弟姉妹と共に祈ることしかできません。困難な時にあって神様のご加護と心の救いがありますように。

### ホノルルYMCA

ハワイの人々は日本の家族に特別な親近感を持っています。私たちは海の向こうにいる私たちの兄弟姉妹に祈りと愛を送ります。(五)

### 地の塩

▼日本航空の鶴丸マークが4月から復活した。私の若い頃は飛行機に乗ること、ましてや、海外旅行に行くことは高嶺の花、海外に飛び立つ美しい鶴のマークは憧れの的だった。鶴丸マークの復活はうれしい▼今は海外にも行きやすくなった。若い頃、夢の島だった映画「南太平洋」のバリ島に今は新婚旅行に行くカップルもある。「星の王子さま」に出てくる「バオバブ」

は幻の植物のように思っていたが、京都植物園に行くと、高温乾燥の温室で実物が見られる。マダガスカル島など、自生地に行けばもっと感動的だろう。世界には不思議な動物、植物も存在し、さまざまな感動を与えてくれるが、この地上のもの全てが造り主(神)の「創造のみ業」、そして旅に出ることはその地上の造られたもの、またその地で人々が遺した歴史に出会うキッカケともなる▼「旅に出よう!」今は若い人たちが旅に出やすくなった。そして、その体験を分かち合うことはお互いを高め合うことになる。旅に出れば3月の未曾有の大地震のような災害に遭うこともあるかもしれない。また、高い志を立て、ニュージランドに渡り地震災害に遭われた方もおられる。しかし国境を越えて自他共に高められたいと願った志は尊い。聖書によれば私たちの命は永遠の命に繋がっているというから決してその命は無にならないし、それがまた救いでもある。一度だけの人生、諸体験をしよう。YMCA活動がそのキッカケになればと思う。(五)

# 震災復興支援活動報告

大阪YMCAは、仙台YMCAボランティア支援センターにコーディネーターとしてスタッフ派遣を行っています。今回は、4月18日～24日の期間で派遣された石橋英樹スタッフからの報告を掲載いたします。

## 支援班の仕事に携わる

仙台市宮城野区に設置されているボランティアセンターには毎日100～200名程度のボランティアが集まっています。そのほとんどは仙台市周辺から集まった学生や主婦などの一般の方ですが、中には県外からやってきてテント生活を送りながら毎日被災地に向かっている方もいます。そんなボランティアたちの活動内容は、地震・津波による被害を受けた一般家庭から依頼を受けて、瓦礫の片付けや泥だしです。未だ重機が入れるほど道路



支援班で活動中の京都YMCAのリーダーと地元の高校生の2人組。厳しい状況の中でも彼らの笑い声が周りの空気を和ませてくれます。



仙台YMCAでは、避難所で生活する東松島市野蒜小学校の子どもたちを励ます活動「がんばろう！のびるっ子！」を、3月31日から小学校が再開される4月21日まで定期的に行いました。

て仙台に派遣されているスタッフ・会員の皆さんもセンターの運営スタッフとして大活躍しています。

## 忙しかった最終日

私はその宮城野区ボランティアセンターの運営スタッフとして、ボランティアを現場に送り出すためのボランティア支援班で、送り出しや迎えのための配車をアレンジしたり、スコップや一輪車といった作業用の道具を貸し出す担当をしてきました。

が復旧していない地域にセンターが配車する車で乗り込み、敷地内にある泥や瓦礫を片付け、家の中から使えなくなった家財道具や畳などを運び出す作業をします。全ての作業が人手で行われるため、一軒の作業を終えるのに数日間かかる依頼もあり、毎日の作業を終えたボランティアは文字通りドロドロになってセンターに戻ってきます。

私が支援班にいた間に進められたもう一つの役割は現地化です。いくらYMCAのスタッフがボランティアとの関係づくりなどに長けているとはいえ、所詮は短期間で交代せざるを得ない要員です。ノウハウの積み重ねや土地勘が重要な作業は、できるだけ現地のボランティアに引き継いできました。

短い期間だったので過渡期状態のままでの離任となりましたが、ある程度の枠組みを作れたと評価しています。地域社会からたくさん集まるボランティアに比べ、センターの運営スタッフは常に人手不足の状態です。今回の派遣で得た現地とのチャンネルを生かして、今後も中長期的に継続されるであろうボランティアセンターの運営を見守っていきたいと思います。



YMCAでは、「盛岡YMCA宮古ボランティアセンター」を中心とした活動も行っています。盛岡YMCA宮古ボランティアセンターには、3月22日から1週間～2週間の単位で継続的に盛岡、横浜、北海道の各YMCAや日本YMCA同盟などからボランティアの派遣がなされています。今後は盛岡YMCA宮古ボランティアセンターを運営しつつ、点と点を徐々に結んでいく活動と宮古教会を中心とした活動が予定されています。

## ◆食育コラム◆第3回

食の経験を豊かに

子どもが好きなメニューは、オムライス・カレーライス・アイスクリーム・サンドイッチ・やさそば・スパゲッティ・目玉焼き。頭文字をとって「オカアサンヤスメ」だと、よく言われます。煮物、和え物、酢の物といった野菜料理全般は、食べ残しが多

いとされます。こういった料理の経験を広げるためには、幼

理は、年齢を重ねると美味しいと感じられる料理かも知れませんが、子どものころから嫌いな食べ物を少しずつ口に

して食の経験を豊かにしてあげることが正しい食習慣を身に付ける上で大切なことです。

「食べたことはあるけれど好きではない」と「全く食べたことがない」のは違うのです。子どもの頃に身につけた食の好みや食習慣はお年寄りになるまで一生続きます。

食の経験を広げるためには、幼

い頃からの家庭での食事が特に大切になります。「身体のお〇〇に良いんだよ」など、自分のからだ

だと関連付けて説明すると案外すんなり食べてみたくなるものです。

また、普段好き嫌いの多い子どもも、友達やおじいさん、おばあさんを家に招いて食事をしてみ

てみると、周りにつられて食べることもよくありますよ。

（大石和秀・サンホーム食生活創造室スタッフ）

## 英会話で広がる国際意識

ランゲージセンター土佐堀校 受講生 作本 良一さん

私が大阪YMCAで英会話を習い始めてから17年が経ちました。残念ながら週3回人工透析を受けていることもあり、まだ外国旅行に出かけたことはありませんが、この間に多くの外国人の友を得ることができ、自身の世界が広がりました。



また、7・8年前、友人に誘われて、神戸で年数回行われているPHFというサークルにも参加するようになりました。そこでは、国籍を問わず多くの若男女が集まって、障がいの有無に関係なく、英語で歌を歌ったり、ゲームに興じたり、おしゃべりをしながらテイタイムを楽しんでいます。日本にいながらにして、ちよっぴり外国へ行ったような気分です。いつも楽しい企画を提供してくれるイギリス人のジャニーナやベネズエラ人のエドワード始めボランティアの皆さんには本当に感謝しています。

## シニアのためのハワイツアー3月8日～13日 4泊6日

坂野 静子さん

昨年9月、阿南国際海洋センターでヨットとカヤックを体験しました。その帰り道から半年後の私のハワイ計画は始まったのです。

「このく木なんの木、気になる木」のCMでおなじみの日立の樹の大きさにびっくり！木が水を吸い上げる音も聴くことができました。今まで映像の世界でしかなかったものが自分の目の前にあることに感動

でした。クジラさんに出会えるかな？期待に胸を膨らませ、出かけたホエールウォッチング！



どこからか「しおく」という男の子の声が入ってきました。見えたのは大きなしおく！見事なフィンキック！巨大クジラが2頭もお出迎えしてくれました。

地元可愛い女の子と一緒にレイを作り、フラダンスのレッスンへ。ぎこちない動きでも気分はもう立派なフラダンサーでした。早朝のダイヤモンドヘッドトレッキング。頂上からの眺めは素晴らしいものでした。ハワイの大自然に触れ、心も体もいきいき

でした！山に登った後は待望のシユノーケリング！初挑戦でしたが、我ながら意外と簡単にできるものだと感心。透きとおった海に熱帯魚のような綺麗な魚たちと一緒に私もスイスイと最高の気分でした。

ホノルルの街を毎晩ショッピングし、ワイキキの浜で波の音に心奪われ、日本のことも忘れ。(笑)ところが、東日本震災の影響で夜中に緊急避難という体験もしました。今後、日本の安全対策を考えさせられるいい機会となりました。

## 協会員・賛助会社

継続会員

- (土佐堀) 足達泰司/生雲文枝/井上都志弘/岩切康宏/岩田 晋/尾形丈二/尾和信孝/川島洋一/岸本健次/木津克見/島田 恒/清水 汎/條 イサヨ/澄川菊代/滝口敏行/武井和子/田中八重子/谷 陽子/田原久美子/太野垣喜代子/津野忠昭/中芝水次/中村茂高/西村 耕/西村博子/野村忠彦/則武秀尚/灰谷陽夫/橋本敏克/福島文子/藤原正巳/前田貴史/牧 光/松浦孝次/松原伸幸/水川雄太/文字文明/山口悦生/山田孝彦/山中秀男/山中幹雄/遊上義一/吉岡香代子/米澤保男/若木正実/脇本 博/渡辺宏子(南有)和子/安藤 格/石井邦也/石田易司/伊藤忠道/岩坂正雄/上田乃生子/籠谷泰津子(北)岩井錠治/児玉祐一/後藤則之/ト田真一郎/杉本恵俊/竹原夕子/寺岡博也/富田泰子/外山岩夫/外山 都/廣島義夫/高橋 敏/日野雅代(現)猪瀬正雄/今井利子/吉田誠二/吉田全孝/鷲谷奈津子(北)岩井錠治/高橋 敏/河野幸作/松下広子/山口 肇/山田浩平/植田延江/納谷 隆/堀江信一(高槻)金田恒一郎/河野 敏/佐野雅代/高木志朗/中村勝吾/西野順子/西野陽一/林 慶太(枚方)坂本松男(徳島)池田俊一郎/泉 瑠里/加計純子/広野美紗/村上徳光/山尾郁美(東)伊藤圭介/大西清也/川端和歌子/田中雅介/西牧駒蔵/芳澤伸之(六甲山)市田恒夫/城 純一/杉浦真喜子/瀬端武男/谷川俊一/藤 孝子/灰谷陽夫/橋本和子/橋本正晴/松下広子/吉松昌紀/吉村啓子(北摂)宇野義男/阪本聡子/高田 一/西岡千絵(阿南)高鶴佐智子/四宮史隆(茨木)加藤英世/藤井英世/向谷 章/山崎 憲

株式会社シエール石油大阪販売所 株式会社朝日新聞社大阪本社

継続賛助会社

第218回大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人々と一緒に祈る時(第3金曜日)を持っています。YMCAの様々な場所で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

日時 6月17日(金) 7:30~8:30
証し 津田晃男さん(北YMCAスタッフ)
場所 大阪YMCA会館
問合せ 大阪YMCA国際・社会奉仕室
Tel 06-6441-0894
E-mail info@osakaymca.or.jp

YMCA阿南国際海洋センター

春の陽気から初夏へ季節が移り変わり、太陽の日差しも強くなり、山の緑が深くなってきました。海洋センターもいよいよ2011年シーズン到来です!

YMCA阿南国際海洋センター
Tel 0884-33-1221
E-mail campanan@osakaymca.or.jp
HP http://www.osakaymca.jp/anant/

[専] 日本語学科(土佐堀校)

この春、土佐堀校には中国、韓国、台湾、タイ、ベトナム、フィリピンなど多くの国から約80名の学生が入学しました。この時期に日本で勉強することを心配するご家族もたくさんいますが、学生たちは毎日一生懸命日本語を勉強し、学校には笑顔が溢れています。

[国際専門学校] 日本語学科(土佐堀校)
Tel 06-6441-9068
E-mail tosabori-nihongo@osakaymca.or.jp

南YMCA

「心と身体を育むプロジェクト2011」を実施しています。南YMCAでは、メンバーの健やかな心と元気な身体づくりをプログラムを通して行っていきます。

南YMCA
Tel 06-6779-8362
E-mail minami@osakaymca.or.jp

YMCA通信

プログラムのご案内は、大阪YMCAのHPでもご覧いただけます。http://www.osakaymca.or.jp

中高齢者事業推進室

好奇心旺盛で前向きな、いきいきとした元気な中高齢者の生きがいづくりプログラムとして「いきいき倶楽部」の活動を展開しています。この活動は、まず参加者として活動を楽しむことから始まり、参加者から企画・運営へと関わりが広がる中で新しい活動が生まれ、その結果として一人ひとりの自己実現がなされることを願っています。



中高齢者事業推進室
Tel 06-6441-0963
HP http://www.osakaymca.jp/adult/senior.html

YMCA国際文化センター

国際文化センターは、大阪YMCA会館で貸会場業務を行っています。様々なサイズの会場があり、ホールは500名様まで、3フロアに計13室ある会場は少人数から150名様までご利用いただけます。



YMCA国際文化センター
Tel 06-6441-0893
E-mail ymca-kaikan@osakaymca.or.jp
HP http://www.osakaymca.or.jp/shisetsu/bunka/index.html

桃の里YMCA

「にがてを克服するきっかけとしてみませんか?」桃の里YMCAでは『体育にがて克服教室』を実施します。1回のクラスで、克服とまではいかなくても、克服するきっかけとなっていただけであることを願って開催します。

[専] インターナショナルハイスクール

4月から新入生23名を迎え、新学期が始まりました。様々なバックグラウンドを持った生徒たちが少人数編成のクラスでのびのびと学んでいます。六甲オーバーナイト、阿南海洋キャンプ、スポーツデイなど様々なイベントが行われます。



[国際専門学校] インターナショナルハイスクール
Tel 06-6441-0848
E-mail ihs777@osk-ymca-intl.ed.jp
HP http://www.osk-ymca-intl.ed.jp/ihs/

YMCA松尾台・しろがね幼稚園

なかよしランド
～家族で毎回新たな発見を～
「なかよしランド」は毎月1回開催しています。(会場 松尾台:偶数月、しろがね:奇数月) YMCA地域子育て支援、ファミリープログラムとして実施されYMCAのスタッフや大学生のボランティアリーダーによって企画されており、大阪YMCAクリスマス献金の地域奉仕活動として運営されています。



YMCA松尾台幼稚園 Tel 072-766-3221
(4月・6月・8月・10月・12月・2月)
YMCAしろがね幼稚園 Tel 072-766-7011
(5月・7月・9月・11月・1月・3月)

里山の自然学校 紀泉わいわい村

すずめの学校・里山キッズ自然学校
紀泉わいわい村での食育プログラムの一環として、一からお米を作る「すずめの学校」が6月にスタートします。6月・7月・10月・11月の4回シリーズでは、田植えや稲刈り、脱穀に至るまで自分たちでお米を作ります。



里山の自然学校
紀泉わいわい村
Tel 072-485-0661
E-mail ymca-waiwaimura@osakaymca.or.jp